

て い ね り よ く ち つ う し ん

手稲緑地通信

手稲の緑地の
取り組み紹介
平成19年7月発行

発行：手稲区土木部
維持管理課公園緑化係
編集：石塚計画デザイン事務所

手稲区内の3つの公園で、貴重な自生植物を 守り育てるための取り組みをしています。

札幌市手稲区には、住宅地の中の身近な場所に、たくさんの緑あふれる公園や緑地があります。中でも、富丘西公園、星置緑地、稲穂ひだまり公園には、市内で貴重になった自生植物の群生地を見ることができます。

手稲区土木部では、平成16年より、地域の皆さんにご協力いただき、これらの公園とその自生植物の魅力を知っていただき、さらに、未来へ向けて守り育てていくための取り組みをすすめています。

スズランの群生地がある富丘西公園

手稲区富丘4・5条5丁目

富丘西公園では、札幌市のシンボルフラワーである日本スズランが自生しています。（詳細は2ページ）



行政と地域の方の協力
ですすすめています。



専門家の指導のもとで、
植物保全の取り組みを
しています。



季節ごとの観察会や、
緑に親しむ取り組みを
行っています。



取り組みに関する
勉強会や意見交換会を
行っています。



取り組みの情報は、
公園の掲示板や通信で
お知らせしています。

ミズバショウの群生地がある星置緑地

手稲区星置1条5丁目

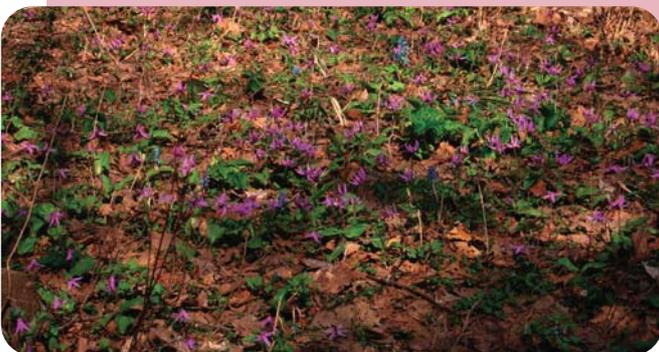
星置緑地では春に一面のミズバショウが咲き、園内の木道から様々な動植物が観察できます。（詳細は3ページ）



カタクリの群生地がある稲穂ひだまり公園

手稲区稲穂4条1丁目

稲穂ひだまり公園では、丘陵地の樹林の中にカタクリが群生しています。（詳細は3ページ）



貴重な自生植物を守り、育て、楽しもう！

富丘西公園、星置緑地、稲穂ひだまり公園では、観察会を開催して様々な自生植物の観察を楽しみながら、植物の保全作業も行っています。各公園の保全作業には、北大大学院農学研究院教授の近藤哲也先生と、植物の専門家である笠康三郎さん（(有)緑花計画）のご指導と、地域の皆様のご協力をいただいております。取り組みを継続する中で、植物が育つ環境がより良く変化するとともに、地域の皆様による自主的な活動も生まれ、取り組みの輪も広がってきています。

富丘西公園とスズランを守り育てる取り組み

春の観察会を開催しました！

◆第12回富丘西公園自然観察会◆ 6月10日（日）開催



6月10日に第12回目の自然観察会を開催し、手稲区内外から約80名の皆さんが参加して、開花中のスズランや春の植物の観察を楽しみました。

スズランの生育の為に、今回は保全区域内の背の高い植物の中で、オオアワダチソウと、カモガヤ（オーチャードグラス）の抜き取りを行い、作業後は公園散策と春の植物の観察を楽しみました。

スズランのためのお手伝い

スズラン保全区域内では、観察会の参加者の皆さんや、富丘丸山町内会のボランティアの皆さんにご協力いただいて、スズランの生育を圧迫している植物の抜き取りや刈り取りを行っています。

年間の作業として、春は高い草の抜き取り、夏～秋はススキの高刈り、秋～冬に枯れ草等の大掃除をします。

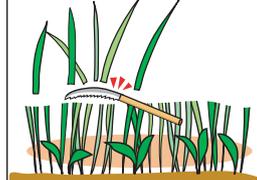
作業を続けることによって、スズランによく日が当たるようになり、開花個体数が増えていく傾向が見られるようになりました！近藤先生のスズラン保全に関する調査によると、特に夏のススキ刈りが効果が高いそうなので、今年の夏もはりきってススキ刈りを行う予定です。

春～背の高い草の抜き取り



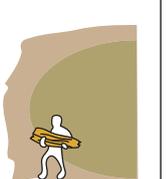
背の高く伸びるオオヨモギ、オオアワダチソウ等を抜き取ります。

夏～秋 ススキの高刈り



スズランを刈らないくらいの高さでススキをザクザク刈ってしまいます。

秋～冬
枯れ草の大掃除



地域の皆さんによる取り組み

「作ろう・遊ぼう・富丘西公園」 富丘児童会館

一昨年より富丘西公園を楽しむ様々な取り組みをしています。昨年はスズラン観察と作業のお手伝いをしました。また、抜き取った植物を使った染色や、落ち葉や木の実を拾って工作も楽しみました。



「総合学習で保全作業」 手稲中央小学校5年生

スズランが校歌に唱われている手稲中央小学校の5年生が、昨年からは総合学習の授業の一環としてスズラン保全作業を行っています。今年も、春の草抜きと、夏～秋のススキ刈りを体験する予定です。



「町内会ボランティアの取り組み」 富丘丸山町内会

町内会ボランティアの皆さんは、保全作業のリーダー的な存在です。日常的に保全区域の作業を行ったり、総合学習の授業の指導役となるなど、積極的な取り組みを続けて下さっています。



「四季の植物観察記録」 富丘在住の菅原さんご家族

毎回ご家族で熱心に観察会に参加されている菅原さんが、週に1～2度公園を訪れて撮影を続けた四季の植物の観察記録を作成して下さいました。

6月の観察会参加者の皆さんにもお配りして、早速富丘西公園の植物観察に役立てていただいています。



今後の予定 ◆第13回自然観察会 7月29日(日)10時～ <夏の植物観察とススキの刈り取り>
◆自然観察会番外編 10月28日(日)10時～ <保全区域の大掃除とお疲れさま会>

星置緑地と**ミズバショウ**を守り育てる取り組み

春の観察会を開催しました！

◆第7回星置緑地自然観察会◆

4月29日(日)開催



約50名の皆さんにご参加いただき、春の観察会を行いました。近藤先生と笠さんの解説で緑地を散策し、ミズバショウをはじめとする春の植物の観察を楽しみました。観察会後は意見交換会も行い、今年取り組みについて話し合いました。

こんな取り組みもしています

「野鳥観察会」4月15日開催

昨年の意見交換会での提案で、「星置川を育てる会」の佐々木さんに企画にご協力いただき、野鳥観察会を行いました。「旭山森と人の会」の皆川さんのご案内で、緑地内で様々な野鳥の観察を楽しみました。



アシとササを刈っています

星置緑地をもっと利用しやすくし、様々な植物が育つ環境を作っていくために、観察会の参加者の皆さんにご協力いただいて、背の高く伸びるアシと広がりつつあるササの刈り取りを行って、影響を観察しています。

アシは根に養分をためる前の夏に、ササは他の植物が枯れて植生を傷めずにすむ秋に刈り取ります。アシ刈り後は緑地入り口付近の見通しがとても良くなりました。ササは勢力が弱まってきており、今後は様々な植物が顔を出してきそうです。



もっと魅力ある緑地に！

観察会にあわせて、さらに魅力あふれる緑地にしていけるための意見交換会も行っています。意見交換会では、保全作業の進め方を勉強する他、ミズバショウだけではない星置緑地の四季の魅力を楽しむための方法についても議論しています。

今後も作業と議論を重ねながら、地域の皆さんと一緒に、星置緑地の将来像を描いていく予定です。

今後の予定

◆第8回自然観察会 9月9日(日)10時～

夏の植物観察とアシの刈り取り。

◆第9回自然観察会 10月21日(日)10時～

秋の植物観察とササの刈り取り。

稲穂ひだまり公園と**カタクリ**を守り育てる取り組み

春の観察会を開催しました！

◆稲穂ひだまり公園自然観察会◆

4月30日(月)開催



稲穂ひだまり公園で初めての自然観察会を行いました。約100名の皆さんが参加して、カタクリや様々な春の植物観察を楽しみました。

後半の意見交換では、公園やカタクリについてのご意見を出し合いました。参加者の多くの方が、カタクリが群生することを知らなかったそうです。

作業に協力したいという声も多く、秋には皆さんと一緒にササ刈りを行うことになりました！

カタクリのためのお手伝い

カタクリを保全するには、春の生育期によく日のあたる環境を作ること、種から新しい個体を増やしていくことが大切です。

そのため、秋のうちに日陰を作るササを刈り、種子の定着や幼体の生育を妨げるリター（落葉や枝や樹皮などの植物の未分解物）をよけて、カタクリが春を迎える準備をしておきます。

効果ははっきりと表れるには数年かかりますが、作業を2年続けたことで、ササの勢力も弱まり、きれいな花がたくさん咲くようになってきました！



今後の予定

◆秋のササ刈り 10月20日(土)10時～

手稲の公園や緑に関わる活動はほかにもたくさんあります！

手稲は山や平地の緑、川もたくさんあり、自然にとっても恵まれた場所です。これまでに紹介した取組みのほかにも、地域の有志のみなさんが中心となって公園や川で活動している取組みはまだあります。この通信では、そんな区民の皆さんによるイキイキとした取組みも紹介していきます。

「星置川を育てる会」

星置川とその河畔で、今ある自然を守り、育て、親しめる場としていくための取組みをしています。

主な催しとして、春に星置川周辺の清掃活動を行い、夏には「星置川ウォッチング」という観察会を実施しています。

昨年の観察会は、札幌市環境アドバイザーの石川清さんにご案内いただき、家族連れ等が参加して、ウキゴリやトウヨシノボリなどの、川に生息する10数種類もの魚類や水生昆虫を捕獲して観察を楽しみました。星置川はきれいな水が流れ、水辺に植生がある等多様な環境があることから、様々な生物が生息しているようです。今年も観察会を開催しますので、ぜひ参加して下さい。



昨年の観察会の様子。星置川でたくさんの生物を捕獲して観察を楽しむ参加者の皆さん。

豊かな自然環境を、未来の子ども達に残したい！

10数年前に、手稲区内で自然環境に興味のあったお母さん仲間が集まり、「お母さんの仕事として、何か考え取組んでいこう」と川についての勉強を始めました。市内で護岸工事されている川が多い中、「ほとんど人の手が加わっていない貴重な星置川を、子ども達のために自然のままの姿で残したい！」という気持ちが高まり、活動がスタートしました。

川を自然の姿で残すために、緑を育てることも学びました。そして、星置川の河畔の土地で「生態学的混播法」による植樹を計画し、ウッドチップによるサークルに10種類ずつの苗木を植えました。3年がかりで植えた、ミズナラやヤチダモ等の22種の苗木は、少しずつですがゆっくりと育ってきています。



星置川河畔に設置した標識板と会のメンバーの皆さん。

昨年は、植樹した場所に手作りの標識板も設置しました。ここには、「20年後の小さな森を夢見て」という、会のメンバーの思いが記されています。

「星置川を育てる会」が主催する今年度の行事

【星置川ウォッチング】

星置川の観察会を行います。一緒に川をのぞいてみましょう！<札幌市の「環境アドバイザー制度」を利用した催しです>
日時：8月5日（日）10：00～12：00
場所：星観緑地内流星橋近くのコンクリート階段に集合。
アドバイザー：石川清さん（北海道漁業保全対策本部研究室室長）
※小雨決行。 ※子どもだけの参加はご遠慮ください。
※サンダル不可。ぬれて良いズック等でお越し下さい。
※参加費は必要ありませんが、3日前までに「星置川を育てる会」にお申し込みください。
星置川を育てる会：TEL&FAX.011-685-3684

「前田森林公園凸凹クラブ」

前田森林公園で、自然観察会や、工作コーナーなどの催しや、樹名板をつける取組みをしています。

主な催しとして、前田森林公園で「自然観察会」を季節ごとに年4回開催しています。鳥、木、草花、虫などのようすを見て、ピクニック気分です歩き楽しんでいきます。また、「おいであそぼう トンカチ広場」を公園管理事務所の横で、5～9月に12回設けています。公園内の木の実、倒木や間伐材などからでてくる木材などを利用して、本格的な工具を使い自由に工作できる広場です。このように、四季折々の様々な催しをしていますので、ぜひ参加してください。



トンカチ広場での作品を片手に話して下さった石田さん。

このほか会員たちで、公園内の木に樹名板をつける取組みや、公園管理事務所が行うカナルの清掃のお手伝いをしています。今年は青少年科学館が主催する星空観察会のお手伝いもする予定です。

歩いていける所に、木にふれあい、豊かな自然を感じ、楽しめる場所を作りたい。

平成11年に市の呼びかけで、同公園を利用する市民と行政が公園について話し合いました。その時の参加メンバーが集まり平成14年に結成されたのが「前田森林公園凸凹クラブ」です。木や植物とふれあい、自然を楽しんでもらいたいという思いで活動しています。特にトンカチ広場は、前田に住む子ども達のために、生活の範囲の中に楽しく遊べる拠点を作りたいと思い、始めました。木の恵みの1つが材木で、それを活かした活動をしようにと思い、始めた活動です。



トンカチ広場で真剣に工作する子どもたち。

前田森林公園凸凹クラブが主催する今年度の行事

【自然観察会】

夏の自然観察会 7月15日（日）
秋の自然観察会 10月7日（日）
冬の自然観察会&雪あそび 3月2日（日）
詳しくは各自然観察会のポスターやチラシをご覧ください。

【おいであそぼう トンカチ広場(9:00～15:00)】

7月：8日（日）、21日（土）、22日（日）
8月：4日（土）、5日（日）、19日（日）
9月：2日（日）、16日（日）、30日（日）
端材を利用して自由に工作するコーナーです。事前申し込みや参加費は必要ありません。

凸凹クラブの行事に関する問い合わせは
前田森林公園管理事務所：011-681-3940 または
凸凹クラブ代表：石田哲也(090-6219-1947) まで。

「手稲緑地通信」第1号では、富丘西公園、星置緑地、稲穂ひだまり公園で行っている植物保全の取組みを、まとめてご紹介いたしました。今年度の取組み予定も記載しておりますので、興味のある方はぜひご参加下さい。

連絡先：手稲区土木センター公園緑化係（電話：011-681-4011）